

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	憲法		
担当者(Instructors)	鈴木 智洋	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「憲法は、人類が歴史上闘い獲ってきた人権やルールを国家に約束させたものであり、我々人間の尊厳を確保し、自由と人格の生存を守るものである。」という、「やっぱり憲法って意味わからないなあ。」「つまらないなあ。」とってしまうかもしれません。しかし、実は、憲法は、難しいものではなく、皆さんも含め、我々の生活の隅々にまで及んでおり、意外と身近なものなのです。この講義では、そのことを皆さんに知ってもらいたいと思っています。そこで、講義では、基本的な知識や概念の説明もしますが、それ以上に、具体的な裁判例や生の事例（私が弁護士として取り扱った事件や、日々のTVニュースで報道されるもの等）を沢山紹介しつつ、分かりやすくかみ砕いて、面白く、楽しく説明することで、皆さんの理解を深めていきたいと思っています。なお、公務員試験や教員採用試験にも対応可能なように、必要な知識も教示する予定ですので、それらの試験を視野に入れていらっしゃる方にとっても有益なものになると思います。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	原則的に対面で行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	憲法とは何か	憲法とは何かを説明する。 歴史的経緯・制定過程から現在の日本国憲法の概要、平和主義まで。	<input type="checkbox"/>
第2回	人権総論①	人権とは何かを説明する。 人権の発生原理、保障と制約（公共の福祉論）、私人間効力まで。	<input type="checkbox"/>
第3回	人権総論②	人権とは何かを説明する。 人権享有主体性（外国人、法人、在監者、未成年者、皇族）まで。	<input type="checkbox"/>
第4回	人権各論①～13条	憲法13条について説明する。	<input type="checkbox"/>
第5回	人権各論②～14条	憲法14条について説明する。	<input type="checkbox"/>
第6回	人権各論③～19条	憲法19条について説明する。	<input type="checkbox"/>
第7回	人権各論④～20条	憲法20条について説明する。	<input type="checkbox"/>
第8回	人権各論⑤～21条	憲法21条について説明する。	<input type="checkbox"/>
第9回	人権各論⑥～22条、29条	憲法22条及び憲法29条について説明する。	<input type="checkbox"/>
第10回	人権各論⑦～23条・26条	憲法23条及び憲法26条について説明する。	<input type="checkbox"/>
第11回	人権各論⑧～25条	憲法25条について説明する。	<input type="checkbox"/>
第12回	人権各論⑨～補充、その他	第4回から第11回までの補充的説明をするとともに、触れることが出来なかった人権についても説明する。	<input type="checkbox"/>
第13回	統治①～国会・内閣	国会・内閣の機関設計がどのようになっているかについて説明する。	<input type="checkbox"/>
第14回	統治③～裁判所	裁判所の機関設計がどのようになっているか、司法権の限界はどこにあるか、について説明する。	<input type="checkbox"/>
第15回	統治④～地方自治	地方自治の機関設計がどのようになっているかについて説明する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

それぞれの回のテーマについて、各自の憲法の基本書、参考書の類を精読しておいてください（回にもよりますが、最低4時間程度は必要だと思います。）。参考図書欄に挙げた「判例百選」については目を通してよく講義の理解がし易いと思います。なお、参考図書欄に挙げたものは代表的な基本書ですが、難しいようであれば、入門書の類でも構いません。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

講義内で示す○×問題・択一問題については、翌週の講義内で解説を行います。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	憲法についての基本的な知識（各種資格試験にも対応可能な知識を想定している。）、思考方法を習得（それは、全ての法的思考に繋がるものであり、社会を俯瞰して考察する能力の習得でもある。）することができる。

■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
70%				30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回出席票を提出してもらいます。出席票には、講義内で提示する、毎回のテーマについての○×問題・択一問題についての回答を記入してもらいます。そこまでできていて出席とし、また、○×問題・択一問題の正誤については成績評価時に加味します。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「憲法 第7版」 芦部信喜・高橋和之補訂（岩波書店）	
2	「憲法 第3版」 渋谷秀樹（有斐閣）	
3	「憲法Ⅰ 第5版」、「憲法Ⅱ 第5版」 野中俊彦、中村睦男、高橋和之、高見勝利（有斐閣）	
4	「日本国憲法論 第2版」 佐藤幸治（法学叢書7）	
5	「憲法判例百選Ⅰ 第7版」、「憲法判例百選Ⅱ 第7版」（別冊ジュリスト）	